

岐阜県ユニセフ協会出前授業のご案内（オンライン授業も可能）

①学校でのSDGsの学習に

～総合的な学習の時間に出前授業を生かす～

<ねらい・内容>

- ・同世代の子どもの状況を通して世界を知る。
- ・よりチャンスが多い自分たちの暮らしに気づく。
- ・自分たちのできることを考え、行動につなげる。
- ・SDGsの目的を達成するためのユニセフの活動を知る。



ユニセフ（国際連合児童基金）とは
世界の子どもたちのいのちとすこやかな成長を守るために活動する**国際連合の機関**です。

小・中・高 願いや実態に合わせて実施します
☆写真や動画資料を使って説明をします。
☆実感をもって理解できるよう 体験型ワークショップも用意しております。
☆SDGs学習のきっかけとしての活用、ユニセフに関連する目標について学習を深めるための活用など、先生方の要望に応じて実施します。
(どの時期でも実施可能です)

ユニセフはSDGsとどう関係しているの？

ユニセフの活動分野はSDGsの17の目標のうち12の目標に関連しています。



ユニセフの活動分野

- ・子どもの生存と成長
- ・教育
- ・子どもの保護
- ・水と衛生
- ・公平な機会

②6年社会科「世界の未来と日本の役割」の学習に

<ねらい・内容>

- ・多くの国々や多くの人が協力して世界の平和や福祉のために活動していることを理解する。
- ・世界の子どもの状況、課題に取り組むユニセフの活動、ユニセフの職員がどういう思いで取り組んでいるか理解し、自分ができることを考えるきっかけとする。

☆教科書（東京書籍）でも、国際連合の取り組みが具体的に理解できるように、ユニセフの活動が取り上げられています。
☆3学期に学習する单元なので、それに合わせて実施します。

③人権（子どもの権利）について学ぶ学習に

<ねらい・内容>

- ・子どもの権利条約やユニセフを知り、世界の子どもや自分たちの権利について考えることにより、すべての人の権利を尊重しようとする意識を育てる。
- ★昨年度、ひびきあいの日の活動として実施された学校もありました。

「人権」はSDGsのキーワード

ユニセフの目指す世界は「子どもの権利が実現される世界」です。ユニセフは「子どもの権利条約」のもとに、すべての子どもの権利の実現を目指して活動しています。

「子どもの権利条約カードブック」を利用した学習

自分たちのまわりで守られていない権利や大切に思う権利について、班やクラスで話し合うこともできます。

◎授業展開例、手続きの方法は裏面をご覧ください。

◎連絡先：岐阜県ユニセフ協会

〒509-0197 各務原市鵜沼各務原町1-4-1 生活協同組合コープぎふ1階

TEL：058-379-1781 FAX：058-379-1782

E-mail：gifuken@unicef-gifu.jp

事務所業務時間 午前10:00～午後4:00（水・土・日・祝日休み）



岐阜県ユニセフ協会出前授業申込

授業展開例「SDGsとユニセフの活動」総合的な学習の時間 2コマコース：45分（50分）×2

(分)	内 容	ねらい
00	挨拶・自己紹介 ユニセフとは？ 子どもの権利が実現される世界をめざす 生きる権利・育つ権利について ・日本とソマリアとの比較 児童労働・紛争について ・バングラデシュ ダッカのごみ集積所 ・イエメンの破壊された教室に立つ少年 水と衛生について ・きれいな水がない	まずユニセフを知ってもらう 世界では1年間に500万人の子どもたちが5歳になる前に命を失っていること 労働を強いられている5～17歳の子どもは1億6千万人 小学校に通えない子どもは世界に5900万人、水を得るために苦勞している子どもがいること・等学ぶ (SDGsの目標との関連)
20	4つのブースに分かれて体験学習 ・保健と栄養のブース 栄養不良の子とユニセフの取り組み ・水と衛生のブース 水運びの大変さ、水運び体験 ・学ぶことのブース 字が読めないことの大変さを知る体験 ・富の配分のブース 富のかたよりを視覚的に知る体験	参加者を4つに分けた少人数で順番にまわり、大変さを体験したり、ユニセフの支援で使っているものを実際に見たり、動画を見たりして、具体的に理解する。 (SDGsの目標との関連)
(休憩)		
70	SDGs17の目標と169のターゲット ユニセフの活動とSDGsの目標との関連 SDGsと自分との関係	SDGsの全体像やユニセフの活動とSDGsの目標との関連を学ぶ。 問題を見つける、解決について考える、そして行動することの重要性について気づく。
80	「マングローブの守り人～子どもたちの植林活動」の動画(2分17秒)	
90	終了	



水運び体験



班ごとで話し合い、意見を発表

話を聞いて、もっと世界のこと、ユニセフのことを知りたいと思いました。

参加児童の感想

事前に打ち合わせをしたので希望通りの授業ができました。

担当した先生の感想

- ☆分かれて体験活動を行うには、最低90分以上で計画していただくとありがたいです。
- ☆オンライン授業の場合は、基本1コマ45分です。体験活動の代わりに、岐阜県ユニセフ協会事務局にある支援物資などを映像で見てもらいながら説明します。
- ☆中学校の学習では、体験活動をして、影響や要因、他の目標との関連を考える等のワークショップを行います。
- ☆2022年は、小学校～大学まで、学年単位、委員会、全校などいろいろな場面で、28回（参加人数2271人）の児童生徒学生を対象に出前授業を行いました。（のべ90人のボランティアで実施）

日本ユニセフ協会からお届けする「2023年度ユニセフ活動の手引き」もご覧ください。

手続きから授業実施までの流れ（ご希望日の2か月前までにご連絡ください）

- ①岐阜県ユニセフ協会のホームページから学習協力依頼票をダウンロードします。
 - ②ファックスまたはメールで岐阜県ユニセフ協会に依頼票を送付してください。
 - ③授業内容について事前打ち合わせをします。（オンライン等も活用）
 - ④実施後、事後アンケートの提出にご協力ください。
- ※費用は講師の交通費及び教材等の配送料のご負担のみお願いしています。

